

# LUX MUNDI

東北学院同窓会報 [ルクス・ムンディ〜世の光〜]

Vol.17 2014.9



変わる！  
土樋キャンパス  
整備計画、始動。



17万人が繋ぐ、TGコミュニケーション

通信

Life  
Light  
Love



年に一度の同窓祭、きっと誰かに会えるはず

# 東北学院 第15回同窓祭

# ホームカミングデー

会期 平成26年10月18日(土)

時間 13:00～ 会場 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

- ①記念礼拝／ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
- ②記念講話／大木 駿一郎氏(元 中・高教員)「信念の人 月浦利雄先生」
- ③記念コンサート／東北学院 中・高・大 合同合唱団

時間 17:00～ 会場 江陽グランドホテル

○懐かしい出会いの夕べ

「懐かしい出会いの夕べ」は会費制です。

参加される方は、10月10日迄までホームページからお申し込みください。

【前売券】女性及び20代男性の参加者:3,000円  
 会費 30代以上の男性:4,500円  
 【当日券】男女共:5,000円

前売りチケットの  
 お問い合わせは  
 【庶務部校友課】  
 TEL:022-264-6468

震災復興を支援する「福島県メニュー」も用意しています。



記念礼拝のパイプオルガンの音色で心は  
 学生時代にタイムスリップします。そして  
 大学祭(六軒丁祭)開催中の土樋キャン  
 パスを自由に散策し、東北学院博物館やシュ  
 ネーダー記念中央図書館、東北学院資料  
 室など公開施設をぜひご覧ください。

## CONTENTS

表題 ～Lux Mundi(世の光)～

「Lux Mundi(ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。

- 01 ホームカミングデー・TG交流ゴルフ大会 開催の案内
- 02 特集 TGインタビュー / 建設TG会 会長 櫻井 俊明
- 06 躍動する同窓生 ～世代を超えたTGの輪～  
 にしてんま法律事務所 弁護士 壺井 健一
- 08 フリーアナウンサー・声の芸人・ラフターヨガ講師 大葉 由佳
- 10 懐かしい風 新しい出会い～同窓生のお店を訪ねて～  
 株式会社インダ 石田 寛
- 12 新・古美術「白馬」 張 敬博
- 14 Faces この人この顔 / 東北学院同窓会 秋田県中央支部 支部長 横尾 徹
- 16 健康と医療 / 岩切阿部医院 院長 阿部 基
- 18 代議員会報告 / 収支決算書
- 20 TG Gallery
- 21 TGネットワーク / ハンカチの木
- 巻末 校友課より / 編集後記

表紙

本館(土樋キャンパス)と新校舎完成予想図

東北学院大学土樋キャンパスでは、現在、さらに魅力的な大学になるための整備を進めています。正門前の通りをはさんだ北側隣接地を取得してキャンパスを拡大、新校舎を建設します。その後、本館や礼拝堂といった歴史的・文化的遺産の保持に最大限配慮しながら、老朽化した建物を建て替える予定です。今後の土樋キャンパスの変化を見守ってください。



3建造物が「登録有形文化財」に登録

去る7月18日、土樋キャンパスの本館、礼拝堂、そして大学院棟が登録有形文化財(建造物)に登録されました。現在進められている整備計画では、これらの建造物群と、新しい校舎が融合するようなランドスケープが意図されています。

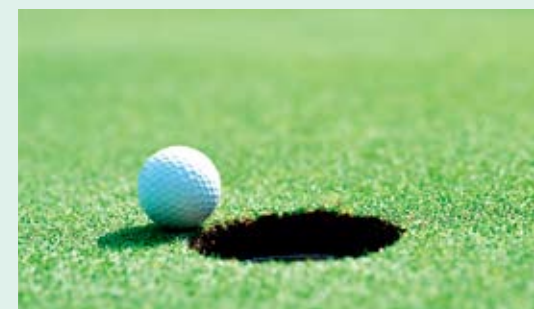
## 第1回 東北学院同窓会主催 TG交流ゴルフ 大会のご案内

東北学院同窓会では、本年より仙台同窓会事業でありましたTG交流ゴルフ大会を引き継ぎまして、東北学院同窓会主催事業として行うこととなりました。つきましては、記念すべき「東北学院同窓会主催第1回TG交流ゴルフ大会」を下記の通り開催いたしますのでご案内申し上げます。

日時 平成26年10月17日(金)  
 7時46分 OUT・IN スタート

会場 仙台カントリーゴルフ倶楽部・名取コース  
 (名取市愛島笠島 TEL:022-383-3636)

参加費 3,000円(賞品代&パーティー代)  
 ※グリーンフィーは各自のご負担となります。(キャディ&昼食付11,500円)  
 賞品には、青森県内の同窓生が育てた農産物などもあります!



### ■ 参加申込方法

[電話にて]  
 東北学院校友課 TEL:022-264-6468

[FAXにて]  
 ホームページより参加申込用紙をダウンロードし、022-214-0404までご送付ください。

9月30日(火) 締切  
 (先着順受付120名)

- ◇お一人様からの参加も受け付けておりますが、参加資格については東北学院同窓会会員に限定させていただきます。
- ◇人数に限りがありますので先着順とさせていただきます。予定人数になり次第締切の切りとさせていただきます。





東北学院同窓会 建設TG会 会長  
「第15回同窓祭 ホームカミングデー」実行委員長  
前田建設工業株式会社 東北支店 理事

## 櫻井 俊明 (さくらい としあき)

昭和56年経済学部経済学科卒

昭和32年生まれ。仙台市出身。東北学院大学を卒業後、前田建設工業(株)に入社。平成22年東北学院同窓会建設TG会会長に就任。東日本大震災後は、建設会社の一員として、また建設TG会会長として精力的に被災地復興にあたっている。プライベートでは、釣りや畑づくりを愛する趣味人。自他共に認める愛妻家でもある。

昭和47年(1972年)に発足した建設TG会は、現在、会長の櫻井俊明さん以下、約150名の会員が活発に活動している。震災復興の軸となる建設産業従事者が中心となって構成される同会は、東日本大震災発生以降、それぞれの持ち場で尽力しながら、建設TG会の活動を通して情報を共有し、研修会や勉強会にも力を入れて研鑽を積んでいる。

そこで、これまでの活動と今後の抱負を伺うと共に、学生時代の思い出から、今年10月に開催される「第15回同窓祭 ホームカミングデー」の実行委員長としての意気込みなどを語っていただいた。

Interview  
特集

# 「地の塩 世の光」となり、 地域社会への 貢献を標榜します。

## 「共存共栄」の精神で 大きな前進を目指す

― 建設TG会は、どのようなメンバーで構成されているのですか。

会則に定めている会員資格は、「東北学院同窓生で建設産業に身をおく者」となっていますが、「建設」とひと口に言っても、関わりのある業種はとても広いんです。ですから、会員には建設会社に勤務する人はもちろん、設備や電気関係の企業など多岐にわたります。

その多種多様な業種の専門性を存分に発揮してもらい、建設TG会の活動に広がりと厚みを生み出そうと6つの部会をつくっています。第1部会は総合建設業、第2部会は専門工事業、第3部会は商事・メーカーといった具合です。

― 具体的には、どのような活動を行っているのですか。

会員同士の親交を深める行事として、「TG交流ビアパーティー」をはじめ、ゴルフや釣り大会、ボウリング大会などを開催しています。また、毎年「クリスマスチャリティー」を催して、会費の一部を緑の羽根募金などに寄付してきました。ただ東日本大震災以降は、東北学院の同窓生である(株)清月記の代表、菅原裕典さんが発起人となって

立ち上げたJETOみやぎ(震災で両親を失った子どもたちを応援する非営利団体)を中心に、寄付をさせてもらっています。

また、私たちが力を入れているものに、勉強会や講演会の開催があります。仙台市内のスポーツ施設を手掛けた設計事務所と開発会社の方をお招きして、建築物のコンセプトを伺ったり、最近では東北大学と岩手大学の教授である吉岡正和先生に、国際リニアコライナーについて教えていただきました。「建設」という側面からだけではなく、この計画を進めることによって、どんなメリットがあるのか。また、私たちの身近なことに利用されるとすれば、どんな場面なのかといった基本を理解しました。その上で自社の仕事や復興

支援につながらなければならないというスタンスで臨んでいます。

― その根本にある活動の理念は、どのようなことですか。

建設TG会は、家族のため、地域のため、社会のためといった、「共存共栄」の精神で結ばれています。みんなで力を合わせて共に進むからこそ、大きな前進がかなえられると思いますし、コミュニケーションが良好であれば、仕事もより円滑に、スピーディーに行えるようになるでしょう。「共存共栄」の精神で活動することが、最終的には地域の皆さんの役に立つことにつながるのではないかと思います。





## 建設のプロとして 客観的な提案を

― 東日本大震災以降、被災地の復旧・復興に力を注いでいると思いますが、震災から3年半が経過した今、建設TG会として、どのようなアプローチが必要だとお考えですか。

未だ震災前の生活を取り戻していない方は、たくさんいらっしゃいます。このような現状を踏まえて、私たち建設のプロは、そこに住む方々の思いや考えを酌み取りつつ、客観的な目で、住民の皆さんとまちの未来を見つめた提案をしていかなければならないと考えています。民間企業だからこそできることがあると思っていますし、実際に自治体と連携しながら、実現した取り組みもあります。この動きを止めることなく、継続していきたいと考えています。

― 企業間の壁、官と民の壁を越えたつながりが、有機的に機能しているということでしょうか。

そうだと思います。それも、東北有数の総合大学であり、多くの同窓生が地域に密着した仕事に就いている東北学院というベースがあるからこそできているという部分も、少なくないと思います。

## 「懐かしさ」を味わう 演出を考案中

― 櫻井さんは今年、第15回目となる「ホームカミングデー」の実行委員長を務められますが、抱負をお聞かせください。

「ホームカミングデー」の運営には、これまで7年ほど携わってきました。今回、せっかく実行委員長に推していただいたのですから、これまでになことを少しだけ付け加えたいと思っています。例えば古い時代の写真を展示することで、参加者に「懐かしさ」を感じてもらうような企画を考えています。懐かしい空間で、久しぶりの再会に心を躍らせる。そんな1日にできたらいいですね。今年は10月18日に開催します。東北学院中学校、東北学院高等学校、東北学院榴ヶ岡高等学校、東北学院大学、東北学院大学大学院の卒業生すべてが対象となりますので、一人でも多くの同窓生に参加していただきたいですね。

― ご自身の学生時代を振り返って、特に印象に残っていることはありますか。

そうですね。大学時代はボディビル部に所属していました。他のスポーツに比べて、ケガの心配がないからです(笑)。また3年、4年とリーダー会の一員として、新入生たちのお世話役のような活動をしていたこともあり、学ラン姿で大学に通っていたのを思い出します。

# 東北学院という ベースがあるから できることが あると思います。

また、卒業してからです。礼拝で耳にした聖書の一節を思い出して、励まされるような思いになることがありますね。また、ミュージシャンのライブの手伝いをして、会場に楽器や機材を運び込んでセッティングして、その上、会場整備まで行ったりもしました。その前から知り合っていたハウンドドッグの犬友康平さんとは、今でも交流があります。とにかく、学生時代は楽しかったですね。

― では、現在の「楽しみ」は何ですか。

家内と一緒に、100坪ばかりの畑で野菜をつくるのが楽しみといえは楽しみでしょう。トマトやキュウリ、豆類などが終わると、ネギや白菜、春菊などを植えて、育てています。

自給自足どころか、人に差し上げても、あり余るほどの収穫があるんですよ。休日だけでなく、平日も朝5時くらいに起きて、畑仕事には精を出しています。あとは自作の弁当を持って釣りに行ったり、近場の温泉に出かけたり。そんなことが、いい気分転換になっています。

― 最後に、建設TG会会長として、今後の抱負をお聞かせください。

私たちが、仮設住宅や復興住宅を建てたとしても、被災された方々の精神的な復興がなされない限りは「復興した」とは言えないと思っています。ですから、震災復興に関しては、これからは建設TG会としてできる限

## 建設TG会 「アピール宣言」

昭和52年7月29日策定

### 建設TG会は…

#### ● アピール：東北学院OBとして

われわれは、“LIFE LIGHT LOVE”を心の糧として、母校を核に先輩、後輩の相互信頼と連帯を深め、互助互惠、大同団結をはかる。

#### ● アピール：建設業界のあすのために

われわれは、広い視野にたつて、建設業界の健全な発展のために、きのうを踏まえ、あすの世界を念頭におきながら、きょうに全てをかける。

#### ● アピール：プロフェッショナルとして

われわれは、東北開発の第一線を担う専門職(プロフェッショナル)に誇りを持ち、常に専門知識・技術・経験の習得につとめる。

#### ● アピール：よりよき地域社会のために

われわれは、「地の塩 世の光」となり、東北学院の建学の精神を挺して地域社会に貢献し、国家社会の文化向上に資する研鑽に励む。





# 躍動する同窓生

PROGRESS

各界で活躍する東北学院の卒業生を紹介する「躍動する同窓生」。今回は、卒業後に専門知識とスキルを身につけ、資格を取得して活躍する2人の卒業生のもとを訪ねました。



## 誰にでも 理解できる言葉で話をする 弁護士でありたい。

にしてんま法律事務所  
弁護士

壺井 健一 (つばいけんいち)

平成元年工学部電子工学科卒



### 父親の勧めで東北学院大学へ

大阪地方裁判所がある大阪市北区西天満に法律事務所を構える壺井さん。離婚や交通事故、債務整理、遺言、刑事事件などを取り扱う弁護士として、多忙な日々を送っている。

壺井さんは大阪出身でありながら、大学の4年間を東北学院大学工学部に進学。最初に、その理由を尋ねてみた。

「初めは遠方に行くつもりはなかったのですが、関西から東北に目を向けるきっかけになったのは、英語の教師をしていた父の一言でした。父が申すには、英語教育に関するコンテストの全国大会で訪れた東北学院という学校の生徒は皆、親しげに挨拶をしてくれたと。きっと良い学校に違いないから、受けてみたらどうかと。それが遠く離れた宮城の大学を受験するきっかけになりました」と、壺井さんは東北学院大学との出会いを話す。

### 紆余曲折を経て弁護士に

弁護士を志したのは28歳の時。大学卒業後、東京の会社に就職。その間、運送会社の経営者に出会い、生き方に共感した壺井さんは、会社を辞めてトラックのドライバーに転身した。

「いろいろありまして、結局はドライバーの仕事も辞めてしまい、派遣社員として働いていたんです。その頃、良くテレビに出ていた弁護士が、独学で司法試験に合格したという話を聞きましたね。今、思い返すと恥ずかしい話なんですけど、『この人がなれたのなら、おれもなれるわ』と思ったのが、弁護士を志した動機です(笑)。その当時は「正義感云々よりも、普通の仕事で終わりがたくないですか、自分の可能性を試したい」という気持ちが強かったんですけどね」と壺井さん。弁護士に

なるまでに経験した仕事、様々な人との出会いは、依頼者の心情を理解するための財産になっているに違いない。

弁護士になると決めた日から、紆余曲折を経て、15年後に弁護士としてのスタートを切った壺井さん。「弁護士になるにはどこで何を身につけるべきかを、事前にきちんと研究する必要があります。弁護士を志して、まず就職したのが司法書士事務所。このスタートは、間違っていますよね。いまだから分かるのですが、当時は『司法』というくらいだから、そこで働いたら司法試験に受かる勉強ができるのではないかと勘違いしていました(笑)と壺井さん。その後、司法書士の資格を取得。仕事をしながら弁護士になるための勉強を続け、晴れて司法試験に合格した。「私が弁護士になるまでには、いろいろな勘違いや失敗もありました。だから、もし弁護士を目指している後輩たちが訪ねてくれたら、弁護士の目指し方について、いつでも相談に乗りますよ。法学部の後輩の皆さんに関しては、その心配ないでしょうが」。

### 印象深い級友との出会い

壺井さんに大学時代を振り返ってもらうと、「本当に、くだらなく過ごしました」と苦笑。学生の特権とも言える自由な時間の使い方を懐かしむ表情から、現在の多忙さが伝わってくる。

在学中の思い出の中で、印象深く記憶に残っているのが、その当時、よく勉強を教えてくれたという、学生番号が壺井さんの3番後ろのクラスメイトのこと。「とても分かりやすい言葉で、私の質問に丁寧に答えてくれました。成績がそんなに良い方ではなかった私ですが、試験で合格点を取ることができたのは、彼が教えてくれたからと言っても言い過ぎではないんです」と壺井さん。実は、壺井さんが公開している、にしてんま法律事務所のホームページには、「ご本人の挨拶として



こんな一文が掲載されている。「私は依頼者の話を具体的にしっかりと聞いて、誰にでも理解できる言葉で説明をする弁護士でありたいと思っています」。この「誰にでも理解できる言葉で話す」ことの大切さを実感したのが、大学時代。「卒業後、彼に会うことはありませんでしたが、大学での出会いと経験が活かされていることを感じます」。

### 「強み」を磨いて

現在、壺井さんは依頼のあった案件だけでなく、大阪弁護士会からの当番弁護にあたる多忙な日々を送っている。今後の目標を伺うと、「今は、離婚問題から債務整理、刑事事件と幅広い案件を取り扱いながら、経験を積んでいきたいですね。そして、将来的に自分ならではの専門分野を確立できればと考えています。できれば知的財産や、海外との取引に関する案件を専門にお引き受けできるようにしたいのですが、そのためには英語を勉強しなければなりません」と壺井さん。弁護士になって3年。まだまだ趣味を楽しむ余裕はないと話しながら、「時間ができたら、ゴルフを始めたいですね」と笑顔を見せた。





世代を超えたT.Gの輪

## 躍動する同窓生

PROGRESS

フリーアナウンサー、声の芸人、ラフターヨガ講師

# 大葉 由佳

 (おおば・ゆか)

昭和60年経済学部商学科卒



# 老若男女、皆が心から笑うことができるのが夢。

## 笑いの体操「ラフターヨガ」

その日、大葉さんは仙台市若林区にある能舞台型文化交流拠点施設「能BOX」にいた。大葉さんは、笑いの体操「ラフターヨガ」の講師として舞台上に立っている。「ラフターヨガ」を体験したいと集まった人たちも同じ舞台上に立ち、輪をつくる。

大葉さんは2009年に「ラフターヨガ」講師の資格を取得。以来、毎月仙台で笑いの体操&トークショーを自主開催したり、子育てや介護のストレス発散交流イベントなどの講師も務めている。

この「ラフターヨガ」とは、インドの医者が考案した「ホハハハ」という声を出す笑い（「ラフター」の体操と深呼吸（「ヨガ」）を合わせたもの。体操といっても、拍手やバンザイといった簡単な動きが中心なので、誰もが気軽に参加できる。それでいて声を出したり、動いたりすることで自然に呼吸が深くなるので、心も体もいつの間にかスッキリ。道具も一切使わない。声を出しても許される空間があれば、どこでもできる手軽さで、現在73カ国に広がっているのだそうだ。

## 新しいものを取り入れる方法

笑いの体操を開始して間もなく、舞台上は明るい笑い声に包まれた。さすがはアナウンサーである。参加者は大葉さんの軽妙なトークと、時折挟み込まれる仙台弁に引き込まれていく。「下腹の筋肉を引き締めて、まず息をゆっくり長く吐き出します。そして鼻から息を吸い込みましょう。まず、出してしまわないと、新しいものは入ってきませんからね」と大葉さんがレクチャー。確かに、その通り。緊張したり、疲れたりすると、私たちは呼吸が浅くなり、心の余裕がなくなってしまう。ライラがちな。

人が心から笑い声を上げる時、実は腹筋を使う。



ちなみに体（＝脳）は本物の笑いも、つくり笑いも区別しないそうだ。もちろん、心の底から笑うことができればしあわせだが、現実社会は笑えないことも多い。だからラフターヨガで、大いに「つくり笑い」をすることが、体と心の健康づくりに有効なのだろう。

## 客観的な「ひと言」が刺激に

大葉さんは、フリーアナウンサーとして、エフエム仙台で毎週日曜日朝5時から放送の「one for wind」日曜日の朝の深呼吸でパーソナリティーも務めている。大学時代からラジオ番組に出演し、レポーターを経験、裏方の仕事もこなした。大学卒業後は、就職せず、フリーのアナウンサーとしてやっていこうと決めていました。当時はバブルでしたから、売り手市場だったにも関わらず、「です」と大葉さんは笑う。

大学卒業後、NHK総合テレビの報道系番組に出演が決まったことで「社会派」に目覚めた大葉さん。28歳で結婚、二人のお子さんにも恵まれ、子育て中心の生活を送る。その後、10年ぶりにテレビに復帰。NHKのニュース番組では自ら取材先を探してリポートするなど、「報道系女子」の本領を発揮した。「おかげさ

なアナウンサーは絶対NOーという思いが強かったんです。それに、自らテーマを探して取材する記者のような仕事が目白く。本当に熱中していました。」

そんな中、当時NHK仙台の制作デスクに出演を促されて臨んだラジオドラマで、演じることで、シナリオ制作にも興味を持つように。そして大葉さんが声の芸人・コメディエンヌ・ネコイズミ（芸名）になるきっかけくれたのが、同制作デスクのひと言だった。「大葉ちゃん、お笑いに向いているね」と言われたんです。何しろ「報道系女子」でしたから、その言葉にはかなりの衝撃を受けました。でも、その何年か後には、お笑いライブのステージに立ちましたからね。考えてみれば、ここに来るまで、かなり遠回りしたんですよ。楽しいこと、創造的なことにすぐ興味があるのに、親の手前とか、報道の仕事が面白いということもあって、即、行動に移すことができなかったんです。でも、それで良かったんだと、全部意味があることだったと思っ「す」と話す大葉さんに、「今の自分」を肯定できるようになるまでの葛藤と努力、潔さが見え隠りする。

## 喜劇仲間を増やしたい

お笑いライブでデビューしたのが12年前。そこをスタート地点として、大葉さんは東京でシナリオライターとしての技術を身につけ、「笑いの芸術」といわれる狂言の修行にも身を投じた。そんな大葉さんに今後の抱負を伺ってみた。プロ・アマ問わず、一緒に喜劇をつくる仲間を集めたいですね。そして2020年までに仙台・宮城・東北を舞台としたコメディ映画を撮りたい。人を傷つけることのない、老若男女が心から笑える喜劇をつくるのが夢なんです。2020年と期限を決めたのは、私自身が追い込まれないとやれない性格なので、あえて宣言してみました（笑）。本音を話すオープンな人柄に、きつとたくさんさんの喜劇仲間が、そして笑顔が集まるに違いない。



# 懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて 17

## 盛岡駅前のお店居酒屋で 岩手の味を楽しんでください

岩手の居酒屋  
「うま舎」「じよ居」「なはん」経営

株式会社インダ

石田 寛 (いしだ・ゆたか)

平成15年経済学部経済学科卒



### いい出会いに恵まれた 仙台での7年間

JR盛岡駅前という一等地で、「岩手の居酒屋」と銘打ち、石田さんが展開するのは「うま舎」「じよ居」「なはん」の3店舗。どの店も岩手が育んだ山の幸・海の幸にこだわり、心を込めた料理と地酒で温かくもてなしてくれと評判の店だ。

「大学を卒業したら、父が経営する店を引き継ごうと思っていました。ですから、大学時代は毎日のように居酒屋などの厨房でアルバイトをして経験を積んだんです」と石田さん。学校では級友たちに支えられて、勉学とアルバイトを両立。大学卒業後は、仙台のイタリアンレストランで約3年、修行を積んだ。「そこでは、私がいずれは盛岡に帰ることを知った上で、飲食店経営に必要なことを学ばせてくれたんです。仙台では、いい出会いがありました」と、仙台での7年間を振り返る。

### 過当競争に負けない 店づくりを

各店舗は、店の造りや大きさは異なるが、あえて内容は変えていない。基本は地元食材を使った料理と地酒、それに冷麺やじゃじゃ麺といった盛岡名物

も揃えている。

「盛岡に新幹線が開通した頃から、父がここ駅前でお店をやってきました」と石田さん。元々、サラリーマンだった父親が、脱サラで始めた小さな焼き鳥屋がこれらの店の原点。昭和57年（1982年）に東北新幹線の盛岡―大宮間が開通したのを機に、盛岡駅前に2店舗目を構え、客はどんどん増えていった。

「今後も中央資本の居酒屋グループに負けない、独自性のある店づくりをしていきたいと思っています。また食に対する興味やニーズが多様化する今、より親しみでもらえる店にするにはどうすればいいのかを、真剣に考える時期に来ているのではないかと感じています。焦らず、でもスピード感をもって、今後の展開を考えていきたいと思えます」。

その決意を後押しするように、TG同窓会盛岡支部の先輩方が、店に良く足を運んでくれるようになったと石田さんは話す。「半年ほど前、盛岡支部の会合に初めて出席したのですが、それ以来、うま舎には、同窓生はいつでも飲み放題という一升瓶「TGボトル」が置かれるようになりました」と、嬉しそうに石田さん。昭和30年代当時から受け継がれる、古き良き店の雰囲気を守り、何を変えていくのか。若き経営者の腕のみせどころだ。



株式会社インダ

〒020-0063 岩手県盛岡市材木町7-27-1103  
TEL.019-653-9733



「うま舎」(うまや)

盛岡駅北口から徒歩約1分。昭和30年代から変わらないカウンター席で、岩手の旬が味わえる。

〒020-0034 岩手県盛岡市駅前通15-6  
TEL.019-653-9733

[営業時間]  
AM11:30~PM 1:00(ランチ)  
PM 5:00~AM12:00  
定休日/無休



「じよ居」(じょい)

店名の「じよ居」は、南部曲り屋の居間「常居」(じょい)から名付けられた、お洒落な外観の居酒屋。

〒020-0034 岩手県盛岡市駅前通10-6  
TEL.019-625-6665

[営業時間]  
PM 5:00~AM12:00  
定休日/無休



「なはん」

ビルの地下1階にある隠れ家的居酒屋。岩手の方言で「あのなはん」と言えば、「あのね」という意味になる。

〒020-0034 岩手県盛岡市駅前通8-11  
(盛岡駅前ビル地下1階)

TEL.019-623-1275  
[営業時間]  
PM 5:00~AM12:00  
定休日/無休



# 懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて 17

## 骨董や美術品を通して、 京都の魅力にふれてください



新・古美術 白馬  
**張 敬博** (ちょう・たかひろ)

昭和48年東北学院高等学校卒  
昭和52年法学部法律学科卒

価値ある骨董から  
日常遣いの雑器まで

JR京都駅からおよそ7キロ。京都でも有数の規模を誇る禅宗寺院「大徳寺」の目の前に、新・古美術品の店「白馬」はある。創業は昭和52年（1977年）、張さんの父親がこの店を開いた。「大学を卒業して京都に戻り、店を継ぎました。大徳寺の前に店を構えたのは、平成元年です」と張さん。店内には、比較的新しい時代につくられた食器などの雑器から、100年以上前につくられた骨董の数々が整然と並べられている。「値段も手軽なものから高額なものまでいろいろありますが、お客さんに値段交渉をもちかけられると、すぐに応じてしまうんですよ。自分が品物を仕入れる立場でもあるので、お客さんの気持ちがよく分かるんです」と笑いながら話す張さん。この店が人をひきつけるのは、そんな気取らない張さんの人柄なのだろう。

礼拝で培った  
奉仕の心

張さんは、高校・大学の7年間を東北学院で過ごした。「母が仙台出身なんです。一番町の文化横丁にある中国料理店の長女なんです。そんな縁

で、叔父に仙台に来るかと言われたので、『行く』と答えて、仙台での生活が始まりました(笑)。

そんな張さんの心に刻まれたのが、高校時代、毎朝行った礼拝の記憶だと言う。「僕はクリスチャンではないのですが、見返りを求めず、人を救おうというキリスト教の精神に共感し、少しでも実践できるようにしたいと思ったのは、まさに高校時代でした。障がいをもつクラスメイトを、みんなが自然にかばうようにして、手助けしていたのが本当にいいなと思ったんです。キリスト教の教えが、生徒全体を包んでいるようでした」と張さん。東日本大震災では、親戚を津波で亡くしたこともあり、我がごとと捉え、現在でも同業者でつくる団体を通し、募金活動をしている。

張さんは今年、京都市から「京都観光おもてなし大使」に任命された。「国内外から来られたお客さんに、京都の魅力を伝えるのが仕事です。同窓生の皆さんも、京都にお越しの際は、ぜひ店に寄ってください。骨董品の鑑定もします」。

同窓生からの鑑定依頼であれば、できる限り駆けつけたいという、そのバイタリティーとホスピタリティーが、「白馬」という親しみやすい店を形づくっているようだ。



煎茶道具を専門に扱っている「白馬」には、仙台からも引き合いがあるという。



寺院が続く大徳寺通りに面して建つ「白馬」。店先を飾る商品に、参拝客もつい、足を止めてしまう。



新・古美術「白馬」  
〒603-8216  
京都府京都市北区紫野門前町16  
TEL.075-492-8080  
【営業時間】AM11:00～PM6:00  
定休日／無休





# 魅力的な活動で 参加したくなる 同窓会を目指します。



## 積極的に 広報活動を展開

— 現在、秋田県中央支部にはどれくらいメンバーが在籍しているのですか。

登録メンバーは300名以上おりますが、会合などに参加する人数となると、常時50名程度でしょうか。他大学の同窓会関係の人も話す機会がありますが、「50名もの人た

ちが総会に出席するなんて」と、うらやましがられることも少なくありません。

また、秋田県内には私たちのほかに、大館支部と横手に南支部という2つの支部があり、時々、合同で会合を開いたり、総会などの時にはお互いに行き来してサポートするなど、交流を図っています。勤務先が秋田市内で、自宅は県北という人などは、中央支部と大館支部の両方に所属している人もいます。

東北学院同窓会 秋田県中央支部 支部長

## 榎尾 徹 (まさお・とおる)

羽後電設工業(株)常務取締役  
昭和48年工学部電気工学科卒

### profile

昭和26年生まれ。秋田県出身。昭和48年東北学院大学を卒業後、羽後電設工業(株)に入社。東日本大震災後、南三陸町の役場庁舎の仮設工事業、石巻での電気工事業を手掛け、被災地で尽力した。「声を掛けてくださったのは石巻の北上電設工業さん。社長(現会長)をはじめ、副社長、専務が揃って東北学院の同窓生でした。どんな仕事にも誠心誠意取り組みますが、同窓生からの依頼には、やはり「ひと肌脱ぐ」という感覚になりますね」と話す。

— どのような活動を行っているのですか。

実際の活動としては、1年に1回、メンバー全員が集まる総会を実施するほか、20名ほどの役員が2カ月に1度の割合で集まり、役員会を開いています。近況報告に始まり、若手のメンバーに役員になってもらい、組織の若返りを図ることや、総会に向けての準備について話し合ったりしています。

また、「東北学院大学地区後援会」に去年から参加して、学生とその保護者の方々に、同窓会の広報活動を行っています。今年はい員の勧誘活動に力を入れたと考えておりまして、マスメディアを使った広報活動を計画中です。

## 誰もが気軽に 参加できる会に

— 学生時代を振り返って、印象深く思い出されるのは、どのようなことですか。

あの頃を振り返ると、大学の先生方がOBがいる企業を訪問し、私たち学生を売り込んでくださったことを思い出します。先生の売り込みと、優秀な先輩方のおかげで、私たちに就職の道が開けたのだと思うと、次に続く後輩たちのためにもしっかり仕事をしなければ...と思ったものです。

また、私は秋田から宮城に出て一人暮らしをしましたが、最初は下宿、その後にはアパート暮らしをしました。それでも、ひもじい思いを



せずに済んだのは、級友たちのおかげだったと、今でも思い出しては感謝しています。生活費が乏しくなると、自宅から通う友人が、私を家につれていってくれて、泊まらせてくれて、一緒に遊んで、朝ご飯までごちそうになって、そして一緒に大学に行くということが良くありました(笑)。優しい友人とご家族のおかげで、楽しく、優雅な生活を送らせていただいたなと思います。

— 最後に、今後の抱負をお聞かせください。

私が最初に同窓会に顔を出した時、大先輩ばかりで気後れした覚えがあります。ですから、今後はもっと敷居を低くして、誰もが気軽に参加できる会にしていける必要があると感じています。そして、同窓会の運営を後輩にスムーズにバトンタッチする。これが私たちの役員の大切な役目だと思っています。

— 最近、そんな同級生たちと野球を楽しんでいるとか。

そうですね。4、5年前から同級生が集まり始めまして、現在、22名になりました。野球の試合をするだけでなく、学校見学会も行つたんですよ。その後、バスで秋保に行き、一杯飲んで解散(笑)。還暦を過ぎての再会は、髪の毛が多いとか少ないとか、白いか黒いか、風貌の変化に驚いたり、自分より君は若いと嘆いたり。他愛のない話で盛り上がるのが、とても楽しい。良い刺激を受けています。

実は、若い人たちの年会費を免除したり、行事への参加費を抑えたりした結果、彼らの参加率が徐々に上がってきました。それによって、親子で参加する人たちも増えてきたのです。同窓会の会合などで、受付を任せられた息子に、父親が先輩として指導する姿を見たりしますと、同窓会も人を育てる場所なのだと痛感します。ですから、これからは同窓会が人と人を結びつけ、また人を育てる場所であるという認識をもち、人を惹きつける人を育て、魅力ある活動を行う組織を目指してまいります。

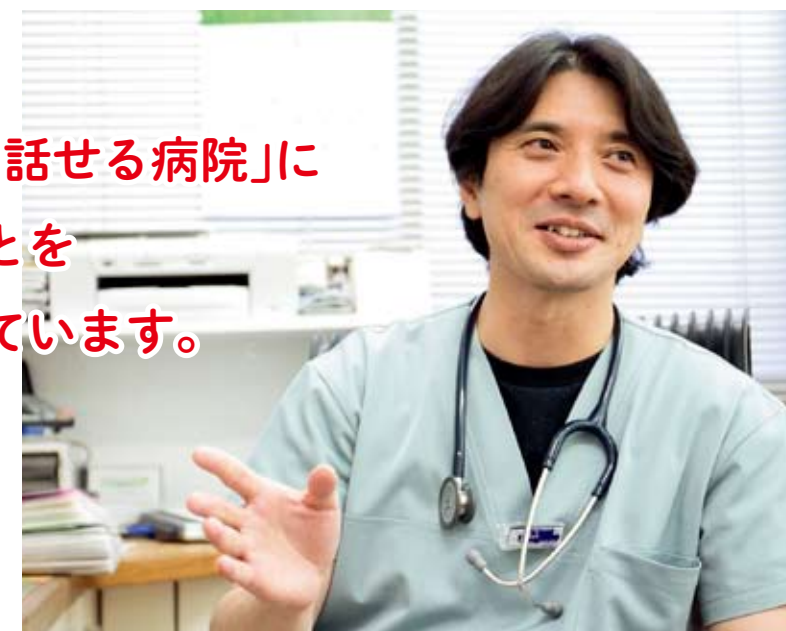


TG  
薬剤師会

ドクター  
TG会

デンタル  
TG会

東北学院の同窓生には、医療機関をはじめ、福祉や介護の仕事に従事する人たちがたくさんいます。そこで東北学院の思い出と共に、お仕事の近況、健康づくりに役立つ情報やアドバイスなどを伺いました。



## 「何でも話せる病院」になることを目指しています。

― 開業されたのはいつですか。

元々は、叔父が今とは別の場所で開業していました。20年ほど前、その病院を私の父が引き継ぐことになり、それを機に病院をこの場所に移したのです。私がここに戻ってきたのは、4年ほど前です。

患者さんは、大半が私より年上の方々なんです。それでも医師として駆け出しの私が、年上の方に対して生活習慣の改善などを指導しなければなりません。ですから、相手に対して敬意をもって接すること、言葉遣いや態度に気を付けるようにしています。私がどれだけ正しいことを言っているのが大切なのではなく、きちんと受け取ってもらえることが大切だと思っています。「良くなりましょう」ということで話をしているのに、伝わらなければ何にもなりませんからね。

― 健康を維持するためのアドバイスをいただけますか。

大きく2つに絞ってお話ししますと、ひとつは、ある程度の自己管理を行いましょうということ。食事の内容や運動不足に「改善が必要だな」と思っている方は、ぜひ今日からとりかかってください。それが、健康でいられる時間を長くするためのポイントになると思います。ふたつ目は、最近では多くの方が健康診断を受けられますが、特定の病気を早期に発見し、早期に治療すること

― 東北学院大学在学中から、医師になろうと思っていたのですか。

いえ、それが違うんですよ。周りの学生たちと同様、私も就職活動をして、東京の住宅会社から内定ももらっていましたが、ただ、当時の私は広告代理店で仕事をしたいと思っていましたので、東京の会社をお断りして、仙台で仕事を探すことにしました。その時、突然「医者になってみようかな」と思ったんです(笑)。

― 思い立って、本当に医師になってしまったというのは、すごいことですね。

そんなことはありません。3年浪人しましたが、その間の勉強は本当に大変で「やっと入った」というのが本音です。

― 現在も東北学院時代の友人たちと交流はあるのですか。

友人の中には、私と同様「中学から大学まで東北学院」という人が結構いますし、今も付き合いがあります。たまに飲みに行ったりしますが、友人たちの半分は、未だに私が医者になったことを信じていないと思います(笑)。

― TG時代の印象に残っていることを教えてください。

真つ先に思い出すのが、高校時代の生活指導の先生です。高校生といえば血気盛んな年頃ですから、いろいろと真面目ではないこともやってしまうわけです。いわゆる「怖い先生」でよく怒られました。が、本当に困った時には生徒を守ってくれる先生だったんです。今の時代は怖い先生といっただけで、いろいろなことを言われがちですが、その先生はみんなから好かれていました。愛がありました。それを感じられたのは幸せだったなと、今になって思います。

― 日々、患者さんと接する中で、心がけていることはどのようなことですか。

を目的とした検診も受けることをお勧めします。最近では、治療できるレベルで見つかるがんが多くなっています。私は内科・消化器科が専門ですから、内視鏡検査を行います。が、苦手だとおっしゃる方も少なくありません。実は苦痛をより感じやすくしているのは、恐怖心や不安といった心理的要素が影響することが多いのです。ですからコミュニケーションがとりやすい医師、いわゆるかかりつけのお医者さんを持つというのは、検査を楽な気持ちで行え、病気の早期発見につながるという点でも、とても良いことだと思います。

― 最後に、抱負をお聞かせください。

地域の方が気軽に来られる病院になることはもちろん、患者さんにちゃんと話をしてもらって、こちらもいろいろな話ができ、その方の健康状態や病状に関して、お互いに共通の認識を得られる状態にしていきたいですね。どんなことでも話せる病院。そうなることが目標です。

岩切阿部医院 院長  
医師  
**阿部 基** (あべ・はじめ)  
昭和61年東北学院中学校卒  
平成元年東北学院高等学校卒  
平成5年東北学院大学卒

昭和45年12月25日生まれ。  
東北学院大学経済学部経済学科を卒業後、岩手医科大学に入学。岩手県高度救命救急センター、宮城社会保険病院(現:JCHO仙台病院)、石巻赤十字病院、東北労災病院を経て、平成22年より岩切阿部医院院長として内科・消化器科を中心に診療活動を行っている。





# 平成26年度東北学院同窓会代議員会

日時：平成26年5月15日(木)13:15～ 場所：仙台国際ホテル2階「平成の間」

議事については以下の通り

- (1) 学校法人東北学院評議員の推挙報告について(了承)
- (2) 平成25年度東北学院同窓会庶務報告について(了承)
- (3) 平成25年度東北学院同窓会支部等開催報告について(了承)
- (4) 平成25年度東北学院同窓会支部等活動費補助利用状況報告について(了承)
- (5) 平成25年度東北学院同窓会への入会報告について(了承)
- (6) 平成25年度東北学院同窓会収支決算報告について(了承)
- (7) 平成25年度東北学院同窓会財産目録(了承)

- (8) 平成25年度監事監査報告(了承)
- (9) 平成26年度東北学院同窓会事業計画(案)について(承認)
- (10) 平成26年度東北学院同窓会収支予算(案)について(承認)
- (11) 東北学院同窓会表彰規程の一部改正報告について(了承)
- (12) 東北学院同窓会慶弔規程の一部改正報告について(了承)
- (13) 東北学院同窓会活動補助規程の一部改正報告について(了承)
- (14) 東北学院同窓会奨学育英事業規程報告について(了承)
- (15) 東北学院同窓会会則の一部改正(案)について(承認)

## 平成26年度 東北学院同窓会収支予算

自 平成26年4月1日  
至 平成27年3月31日

収入の部					支出の部				
科 目	26年度予算額	25年度予算額	増減(26年度-25年度)	備 考	科 目	26年度予算額	25年度予算額	増減(26年度-25年度)	備 考
前年度繰越金	28,641,415	22,422,524	6,218,891		総 会 費	100,000	100,000	0	会場使用料
入 会 金	10,140,000	10,104,000	36,000	@3,000円	集 会 費	4,000,000	4,000,000	0	支部総会・TG会総会等への出席費
内 訳					旅 費 交 通 費	7,000,000	8,500,000	△ 1,500,000	支部総会・TG会総会等出席旅費
大学院	21,000	12,000	9,000		活 動 補 助 費	3,000,000	2,500,000	500,000	支部総会・TG会総会活動補助
法務研究科	0	9,000	△ 9,000		印 刷 費	8,000,000	7,000,000	1,000,000	同窓会便覧・3L通信等印刷費・各種封筒等印刷費
文学部	1,368,000	1,386,000	△ 18,000		通 信 費	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	郵便料金・宅配郵送料・切手はがき・3L通信発送費等
経済学部	2,016,000	1,917,000	99,000		広 報 費	5,500,000	6,000,000	△ 500,000	東北学院へ(学院時報費)・広告
経営学部	963,000	1,017,000	△ 54,000		ク リ ス マ ス 費	500,000	500,000	0	東北学院へ
法学部	945,000	984,000	△ 39,000		TG十五日会費	4,000,000	4,000,000	0	講師謝礼・会場費等
教養学部	1,185,000	1,293,000	△ 108,000		賃 借 料	0	150,000	△ 150,000	
工学部	1,452,000	1,497,000	△ 45,000		人 件 費	2,000,000	2,000,000	0	TGSSサポートスタッフ
高等学校	699,000	627,000	72,000		業 務 委 託 費	6,500,000	6,240,000	260,000	派遣職員(2名)の派遣費用
榴ヶ岡高校	990,000	873,000	117,000		福 利 厚 生 費	1,500,000	1,000,000	500,000	叙勲祝い他慶弔費等
中学校	501,000	489,000	12,000		会 議 費	2,000,000	2,000,000	0	常任委員会等各種委員会会場費
会 費	40,053,000	40,776,600	△ 723,600	大学@3,000円 中学・高校・榴ヶ岡@1,800円	備 品 費	400,000	200,000	200,000	
内 訳					事 務 費	300,000	300,000	0	事務消耗品等
大学院	297,000	306,000	△ 9,000		雑 費	4,000,000	5,700,000	△ 1,700,000	卒業記念品・ホームページ保守・各種手数料
法務研究科	15,000	39,000	△ 24,000		オ ジ ナ ル 品 制 作 費	3,500,000	2,800,000	700,000	支部・TG会総会参加者記念品
文学部	5,718,000	5,904,000	△ 186,000		TG会館建設資金 並びに運営資金	5,000,000	0	5,000,000	
経済学部	8,235,000	8,334,000	△ 99,000		ホ ー ム カ ミ ン グ デ ー	5,500,000	6,800,000	△ 1,300,000	
経営学部	4,383,000	4,470,000	△ 87,000		サ テ ラ イ ト ス テ ー シ ョ ン	5,000,000	4,700,000	300,000	
法学部	4,623,000	4,626,000	△ 3,000		東 日 本 大 学 災 害 救 済 費	2,000,000	0	2,000,000	支部のある自治体へ寄付
教養学部	5,688,000	5,838,000	△ 150,000		同 窓 会 記 念 事 業 費	0	10,000,000	△ 10,000,000	
工学部	6,315,000	6,441,000	△ 126,000		同 窓 会 奨 学 事 業 費	3,500,000	—	3,500,000	
高等学校	2,041,200	2,046,600	△ 5,400		予 備 費	12,834,415	9,013,124	3,821,291	
榴ヶ岡高校	1,830,600	1,834,200	△ 3,600		合 計	87,134,415	85,003,124	2,131,291	
中学校	907,200	937,800	△ 30,600						
時 報 購 読 料	4,300,000	4,800,000	△ 500,000	2,000円×2,150人					
ホームカミングデー	1,750,000	4,000,000	△ 2,250,000						
TG十五日会	1,500,000	1,500,000	0						
寄 付 金	300,000	—	300,000						
TG会館建設資金並びに 運営資金繰入収入	0	0	0						
雑 収 入	450,000	1,400,000	△ 950,000	預金利息とオリジナルグッズ販売収益					
合 計	87,134,415	85,003,124	2,131,291						

科目間及び予備費の流用については、三役会議の了承を得て執行いたします。

TG会館建設資金 並びに運営資金	前期末残高	当期繰入金額	当期末残高	備 考
	160,000,000	5,000,000	165,000,000	七十七銀行、仙台銀行

## 平成25年度 東北学院同窓会収支決算書

自 平成25年4月1日  
至 平成26年3月31日

収入の部					支出の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	増減(予算額-決算額)	備 考	科 目	予 算 額	決 算 額	増減(予算額-決算額)	備 考
前年度繰越金	22,422,524	22,422,524	0		総 会 費	100,000	71,610	28,390	代議員会会場費
入 会 金	10,104,000	10,104,000	0	@3,000円	集 会 費	4,000,000	3,960,000	40,000	支部総会・TG会総会等出席費
内 訳					旅 費 交 通 費	8,500,000	6,386,700	2,113,300	支部総会・TG会総会等出席旅費等
大学院	12,000	12,000	0		活 動 補 助 費	2,500,000	2,654,149	△ 154,149	支部総会・TG会総会等活動費補助・各総会出席者記念品(正統タール)
法務研究科	9,000	9,000	0		印 刷 費	7,000,000	5,235,405	1,764,595	同窓会便覧・3L通信・封筒等印刷費
文学部	1,386,000	1,386,000	0		通 信 費	1,500,000	679,766	820,234	郵便料金・宅配郵送料・振込手数料・切手はがき等
経済学部	1,917,000	1,917,000	0		広 報 費	6,000,000	5,261,250	738,750	東北学院へ(学院時報費)・文化講演会広告等
経営学部	1,017,000	1,017,000	0		ク リ ス マ ス 費	500,000	288,555	211,445	公開東北学院クリスマス経費の1/2東北学院へ
法学部	984,000	984,000	0		TG十五日会費	4,000,000	3,328,143	671,857	講師謝礼・会場費等
教養学部	1,293,000	1,293,000	0		賃 借 料	150,000	96,180	53,820	コピー機リース料 解約済み
工学部	1,497,000	1,497,000	0		人 件 費	2,000,000	1,050,000	950,000	TGSSサポートスタッフ給与
高等学校	627,000	627,000	0		業 務 委 託 費	6,240,000	6,194,790	45,210	派遣職員(2名)
榴ヶ岡高校	873,000	873,000	0		福 利 厚 生 費	1,000,000	1,071,000	△ 71,000	叙勲者祝金・香典・生花
中学校	489,000	489,000	0		会 議 費	2,000,000	1,371,733	628,267	各種委員会会場費等
会 費	40,776,600	40,027,950	748,650	大学@3,000円 中学・高校 月@150円	備 品 費	200,000	96,215	103,785	デジタルカメラ、サポートスタッフ用更衣ロッカー
内 訳					事 務 費	300,000	234,287	65,713	消耗品費等
大学院	306,000	276,000	30,000		雑 費	5,700,000	5,389,580	310,420	卒業記念品・災害支援文具・災害支援金・同窓会ホームページ保守等
法務研究科	39,000	33,000	6,000		オ ジ ナ ル グ ッ プ 制 作 費	2,800,000	515,025	2,284,975	ネクタイ・ハンカチ当期使用分
文学部	5,904,000	5,745,000	159,000		財 政 安 定 準 備 基 金	0	0	0	
経済学部	8,334,000	8,187,000	147,000		ホ ー ム カ ミ ン グ デ ー	6,800,000	2,189,978	4,610,022	記念品・チラシ・抽選商品・各種謝礼等
経営学部	4,470,000	4,398,000	72,000		同 窓 会 記 念 事 業 費	10,000,000	1,365,900	8,634,100	110周年記念講演録送料、会場費、講師謝礼代、特別給付奨学金150,000円×3名
法学部	4,626,000	4,563,000	63,000		サ テ ラ イ ト ス テ ー シ ョ ン	4,700,000	4,649,471	50,529	同窓会負担分(賃借、共益、消耗品1/2)・人件費1名分・サポートスタッフ傷害保険
教養学部	5,838,000	5,718,000	120,000		予 備 費	9,013,124	0	9,013,124	
工学部	6,441,000	6,309,000	132,000		小 計	85,003,124	52,089,737	32,913,387	
高等学校	2,046,600	2,038,950	7,650		次 年 度 繰 越 金	0	28,641,415	△ 28,641,415	
榴ヶ岡高校	1,834,200	1,831,200	3,000		合 計	85,003,124	80,731,152	4,271,972	
中学校	937,800	928,800	9,000						
時 報 購 読 料	4,800,000	4,227,000	573,000	2,000円×2,112名-3,000円×1名					
ホームカミングデー	4,000,000	1,730,000	2,270,000	出会のタペケット代					
TG十五日会	1,500,000	1,498,500	1,500	1人1,500円、11回開催					
財 政 安 定 準 備 基 金 繰 入 収 入	0	0	0						
雑 収 入	1,400,000	721,178	678,822	預金利息・オリジナルグッズ販売、寄付金					
合 計	85,003,124	80,731,152	4,271,972						

財政安定準備基金	前期繰越金額	当期繰入金額	H26.3.31残高	備 考
	160,000,000	0	160,000,000	



# グローバルにローカルに、 “繋がり”広がるTGネットワーク!

現在、東北学院同窓会には、ニューヨークにある北米支部を含めて85の支部があり、職域の同窓会として118のTG会が組織されています。

海外で活躍する卒業生、地域に根ざした卒業生、それらを繋いでいるのがTGネットワークです。

あなたとの新しい“繋がり”をTG同窓会支部は待っています。

同窓生総数

## 173,135名

(平成26年5月1日現在)

(住所不明・永眠者を除く)

※地図の人数は学院時報発送者数

合計108,513名

(平成26年5月1日現在)

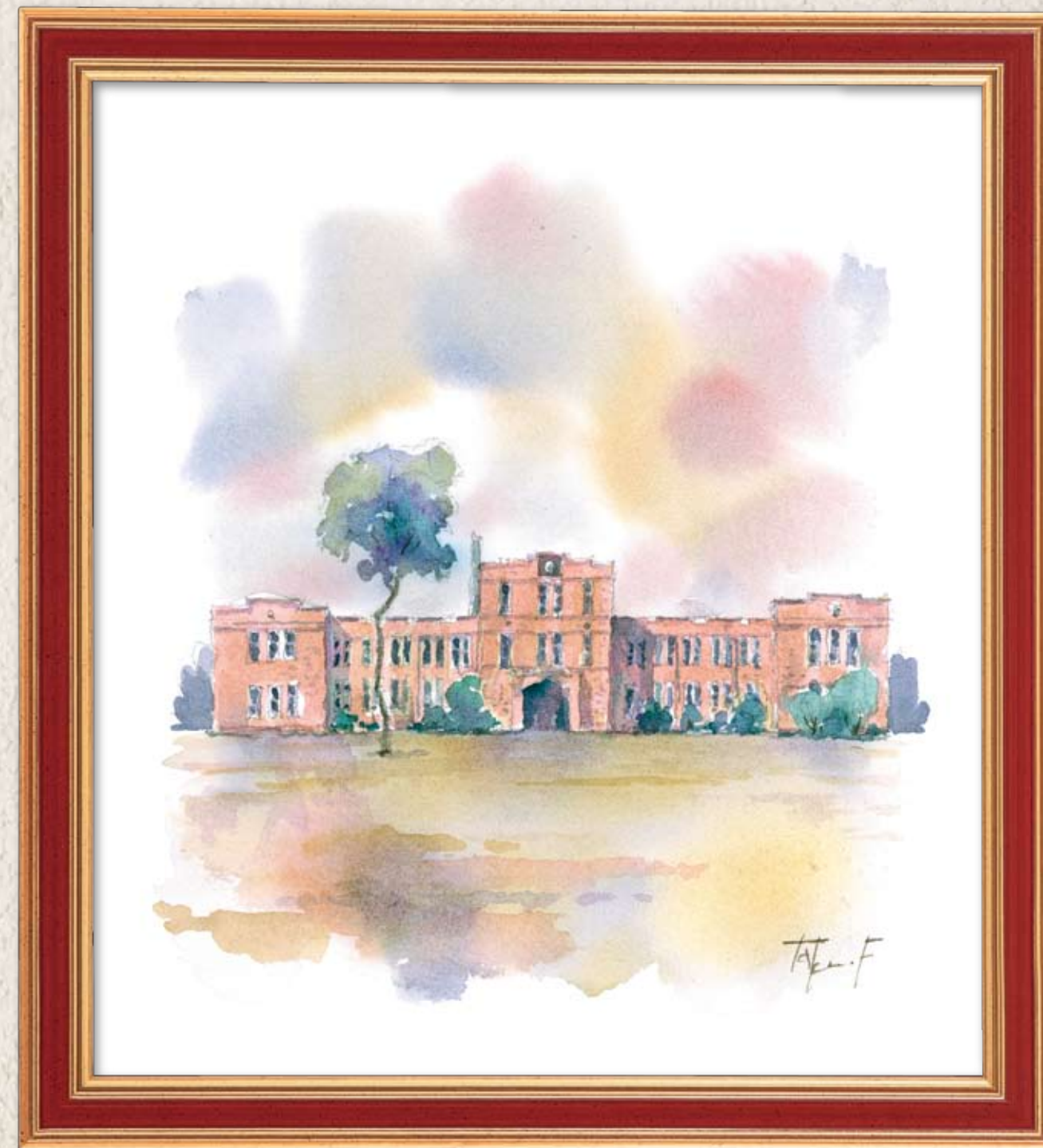


ご存じですか?  
5月のキャンパスで  
風に揺れる「ハンカチの木」

東北学院大学の土樋、泉、多賀城の各キャンパスには、とても珍しい木があります。その名も「ハンカチの木」(写真は土樋キャンパス)。東北学院の創立120周年を記念して、植えられました。まるで白いハンカチが下がっているように見える花は、実は花ではなく、アジサイやハナミズキのように葉の一部なのだそうです。なかなかお目にかかれない珍しい木なので、初夏にキャンパス近くを訪れた際は、ぜひ立ち寄ってご覧ください。



【情報をお寄せください】全国で幅広い活動を行う支部、TG会の活動報告の場です。皆様の情報をお待ちしております。(情報は校友課まで)



TG Gallery  
1919年の仙台大火で消失した中学部校舎 通称「赤レンガ校舎」  
Taku Furuyama

古山 拓。昭和61年 文学部史学科卒。昭和37年岩手県に生まれる。アニメーター、印刷会社、デザインプロダクション勤務を経て、平成6年、フリーイラストレーターとして独立。東北、東京等各地で風景水彩画の個展を開催。個展発表と広告美術の二本の柱で活動中。日仏現代美術博「ARTEC 造形美術賞」受賞。パリで開催された国交省イベント「ようこそ東北へ」では、東北風景紹介作家としてメイン展示。アトリエ名/ランズエンド。洋画家 故・杉浦朝雄氏に師事。●東北イラストレーターズクラブ会員 ●(社)宮城県芸術協会会員



**東北学院大学**
**土樋キャンパス**

 大学院: 文学研究科・経済学研究科・経営学研究科  
 法学研究科・法務研究科

 学 部: 文学部・経済学部・経営学部  
 法学部 (各3・4年)

 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号  
 TEL.022-264-6421 FAX.022-264-3030

**多賀城キャンパス**

 大学院: 工学研究科  
 学 部: 工学部

 〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号  
 TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

**泉キャンパス**

大学院: 人間情報学研究科

 学 部: 文学部・経済学部・経営学部  
 法学部 (各1・2年)・教養学部

 〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号  
 TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

**東北学院中学校・高等学校**

 〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1  
 TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

**東北学院榴ヶ岡高等学校**

 〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号  
 TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

**東北学院幼稚園**

 〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号  
 TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

**3L通信編集委員会**

委員長	東北学院長・東北学院同窓会名誉会長	星宮 望
副委員長	東北学院庶務部長	八島 康治
委員	東北学院大学学長室長・経済学部教授	阿部 重樹
	同窓会若林支部幹事長 (代議員)	亀岡 幸康
	仙台同窓会事務局長 (代議員)	舘崎 智信
	同窓会宮城野支部幹事長 (代議員)	菊地 茂
	同窓会太白支部 (代議員)	高橋 公晴
	法学部同窓会副会長	馬場 弘幸
	ユアテックTG会事務局長 (代議員)	折原 清
	東北学院広報部広報課長	菅井 研
	東北学院庶務部校友課長	増田 敏
	東北学院庶務部校友課長補佐	菱河 亮平
	東北学院庶務部校友課	

※平成26年5月1日から3L通信編集委員会のメンバーは上記の通りとなります。

発行日/2014(平成26)年9月15日

発行所/東北学院同窓会(事務局:庶務部校友課)

発行人/後藤 久幸

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

TEL.022-264-6468 FAX.022-214-0404

URL: http://www.tg-alumni.jp

E-mail: dousou@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

印刷/株式会社ユーメディア

**校友課より**
**「個人情報保護法」への取り組みについて**

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に務めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧ください。

なお、東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は、次の通りです。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信—Lux Mundi」の送付
- ◇「東北学院時報」購読料徴収に関する事務
- ◇ホームカミングデー「懐かしい出会いの夕べ」の案内及び参加費徴収に関する事務
- ◇各支部・TG会などが主催する総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

**住所等変更届のお願い**

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡下さいませようをお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は慎重に取り扱い、同窓会に関する利用目的以外には使用いたしません。特に「東北学院時報」と「3L通信—Lux Mundi」は、皆様と母校を結ぶ通信手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。なお、住所変更届は東北学院同窓会公式ホームページから行うことができます。

**編集後記**

この度お手元にお届けをしている東北学院同窓会報3L通信にご登場いただいた同窓生の皆さまは、それぞれの同窓会よりご推薦をいただいた方々が中心となっています。これは、ささやかですが、これまでとは違った新しい試みです。皆さま方からも、この人はと思われる同窓生につきまして、さらにご紹介いただければ幸いです。

また、従来の3L通信の編集委員会は東北学院の法人、大学、中学・高校、榴ヶ岡高校の関係者によって構成されてきていました。本号から編集委員の半数に同窓生の方々に就いていただくことになりました。こうした取り組みは、次号以降の3L通信の内容に新鮮な趣向となって活かされてくることでしょう。これからも東北学院同窓会報をお楽しみいただけるよう新しい編集委員会一同頑張っていきたいと思っています。(阿部)